

## 2015山のトイレデー活動記録

2015トイレデーは9月6日に実施しました。今回で15回目です。  
 9月6日以外の別な日にも多くの方が自分の都合に合わせて実施してくれました。  
 北海道の38箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やマナーガイドを配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。  
 参加者は90名。トイレマップ401部、マナーガイド1131部、マナーカード39枚、マナー袋1670袋を配布することができました。  
 今回は、特にトイレ紙の持ち帰りを登山者に呼びかけました。皆さん好意的に啓発ツールを受け取ってくれました。  
 携帯トイレを持っている人、ティッシュは持ち帰っていると登山者も多く、地道なマナー向上の取り組みが実を結んできた気がします。参加された皆さま、ありがとうございました。

(注)報告のあったもののみ掲載しています。 ※印は報告書作成者

山域	山名等	実施場所	実施日	参加者	参加人数	プ 配布数	ト 配布数	ト 配布数	マナー袋 配布数
道央	八剣山	南口コース	9/6	※泉(恵)	1		87		
"	定山溪朝日岳 藻岩山	岩戸口～豊林荘 慈恵会	9/5	※横須賀ほか3名	4		100		100
"	空沼岳	登山口	9/6	※森本、渡辺	2	30	30		30
"	空沼岳	万計山荘	9/12～13	※上村	1	23	23		23
"	樽前山	ヒュッテコース	8/29	※仲俣、小枝、平井、南	4		100		100
"	徳舜瞥山	日鉄鉱山跡コース	9/6	※泉田	1	40	40		40
"	徳舜瞥山	日鉄鉱山跡コース	9/5	※長谷川ほか1名	2	6			6
"	羊蹄山	比羅夫コース	9/6	※平井	1		60		60
"	恵庭岳	ポロピナイ	9/6	※宇佐美	1	40	40		40
"	塩谷丸山	塩谷駅コース	9/12	※伊吹、斉藤(小樽労山)	2		23		23
"	夕張岳	夕張岳ヒュッテ	7/25	※河村ほか3名	4		30		30
"	羊蹄山	真狩・比羅夫登山口	9/7	※佐藤ほか1名	2		45		45
"	羊蹄山	比羅夫・真狩・京極 喜茂別登山口	9/5～7	※小笠原	1	100	100		100
日高	ベテガリ岳	西尾根コース	9/2	※吉田ほか2名	3	5			5
道南	駒ヶ岳	赤井川コース	9/5	※渡辺ほか3名	4	10	10		10
大雪	大雪山各所	旭岳ロープウェイ 旭岳ビジターセンター 黒岳石室 銀泉台登山事務所 緑岳登山事務所 ヒグマ情報センター 高原山荘 白雲岳避難小屋 愛山溪ヒュッテ	9/6	※佐藤(風の便り工房) ほか各配布場所担当者	10				600
"	旭岳	姿見の池園地	9/5～6	小沼、羽馬、藤、山口	4		200		200
"	黒岳	層雲峡ロープウェイ駅	9/6	※末岡	1	100	100		100
"	白雲避難小屋	白雲コース	9/9	※森本	1				15
"	大雪高原温泉	高原温泉巡り	9/13	※横山ほか12名(小樽労山)	13		26		26
"	忠別岳	沼ノ原コース	9/5～6	※上村	1	27	27		27
十勝	十勝岳	望岳台コース	9/6	※仲俣、内藤、阿部、矢野、大森、高橋	6		70		70
"	美瑛富士避難小屋	水無川コース	9/5	※岩村、大城、森本、渡辺、双樹、藤、岸田	7	20	20		20
道北	利尻山	鷺泊コース 沓形コース	9/6	※佐藤(雅)、岡田(亜)、岡田(伸)、岡、 貝塚、三枝、佐古、佐藤(里)、澤田、高木、 高澤、中野、原澤、松岡 *共催: 山のトイレを考える会利尻グループ 利尻礼文サロベツパークボランティアの会	14			39	
		38箇所		合計	90	401	1131	39	1670

2015山のトイレデー記録(活動概要・感想など)

山域	山名等	実施日	活動概要	感想等
道央	八剣山	9/6	駐車場はほぼ満車。登山口に幟を立てて登山開始。道の両脇を最近草刈りした痕跡がありました。下山してくる登山者にマナーガイドを配布。山頂は誰もいなかったが、続々と若者グループ、年配の単独登山者、ご夫婦連れ、家族連れなど、幅広い年齢層の方たち、9割方は初心者風で、快く受け取ってもらえた。中には「携帯トイレは持って歩いているけど使ったことない」という方も。11時に下山開始、今度は登ってくる方たちに配る。登山道にトイレ痕、ゴミなどはなかった。	
"	定山溪朝日岳 藻岩山	9/5	朝日岳の岩戸口着8時。登山口に幟を立てて4人で8:40登山開始。ゴミが無く拾うものなし。山頂で20分休憩し反対側豊林荘コースへ出た。河童橋散歩道を経由して戻ろうとしたが交通止めで国道側を歩く。登山者ゼロで配布できなかったため、藻岩山に移動する。13時慈恵会登山口到着、1:30から1時間で100部配布。気持ちよく受け取ってくれる登山者や励ましてくれる登山者などに、初めて参加の皆様はご満悦でした。藻岩山慈恵会登山口トイレ前に動物による噛み跡のあるゴミが散乱していたので回収、駐車場のゴミは僅かだがこれも回収。	トラン(水沢)さんの話から:すれ違う人に挨拶しながら走るが、それでも批判的な態度や罵言がある。自分たちはどーしたらいいのか、途方に暮れる。彼の登頂タイム21分!普通の登山者なら1時間から2時間。若者から年寄りまで様々な利用者に様変わりが嬉しく感じられた。
"	空沼岳	9/6	7時、登山口到着。登山口に幟を立てて2人で活動開始。登山者に配布を行うと共に合間を見て登山口周辺の清掃を行う。登山口付近ではトイレは見当たらず、わずかな紙ゴミ及びビニールゴミを回収。	駐車事情が悪くなったことで去年に比べて登山者減っているのかなと思いきや、5~10分おきぐらいにハラとコンスタントに登山者があられホツとしました。本日はソロや2人組の登山者が多く、団体は少なめ。みなさん概ね好意的に受け取ってくれました。
"	空沼岳	9/12~13	万計山荘のトイレは清潔に維持されていて気持ちよく利用していただいている。	初心者が多く訪れる別の山では、どうしてよいのか分からないであろう。山中にトイレ痕を見ることがあったが、万計山荘のように山中にトイレがあればそういうことはなくなるようだ。登山口への経路上に(除雪センターそば)公衆トイレがあることもよく知られているのではないかな。
"	樽前山	8/29	6時50分登山口到着。登山口に幟を立て、4人で7時20分登山開始。ガスの中、東山まで行って下山。5合目ゲートは8時前に閉鎖。9:50から登山口でツール類の配布開始。登山口周辺のゴミも回収したが、昨年よりも少なかった。目標の100部を配布して12時解散	家族登山など初心者が多い山なので、マナー袋とマナーガイドを配布。トイレマップは配布しなかった。皆さん好意的に受け取ってくれた。
"	徳舜警山	9/6	今年は前年の状態から8時少し前から始めたが、すでに車7台駐車あり。その後もどんどん車が上がりてきて、9:20で40枚のパンフセット全て完配する。今年は全員説明を聞いて受け取ってくれた。このような活動を知っている方もいた。パンフがなくなった後からも車が来て、駐車場が一杯で、一時駐車場の整理係をする。出発時30台あった。9時37分登山口発~頂~登山口13時3分下山後、山のトイレの看板を片付け終了。本日の登山者60名を超えていた。登山口、頂上にも、ゴミは見当たらなかった。	登山道で鉛の包み紙一回回収だけ。頂上周辺にティッシュはなし。和ホロ山には行かなかったので不明
"	羊蹄山	9/6	6時幟を立て、登山口駐車場に次々と集まってくる登山者に会の趣旨を説明しながら配布。登山道でエックをしながら、1~8合目で休憩される方に手渡す。(予定の60部終了)皆さん、気持ちよく受け取ってくださいました。山のトイレを考える会をご存知の方2名。携帯トイレをいつも使用してますという方3名。東京からの団体さん10数名は常に携帯トイレ持参だそう。登山道の清掃をしていると、「僕もこれからします。」と喜んでくださった方2名。休憩場所から2~3m先の藪には、なんと空のペットボトル3本(7合目と6合目)その他のゴミ(カラス片、腐食した空き缶、アルミ箔、リクプル、ビニール、タバコの吸殻他)。ティッシュ痕4ヶ所(7.6.5合目)、汚物にティッシュ載せ1ヶ所(6合目)。4合目あたりで出会った家族4人連れの5歳の男の子は、「どうしてゴミ拾ってるの?」と聞いた後追いかけてきて、「はい」と鉛をひとつ手渡してくれ、疲れが吹き飛ぶ感じがしました。16時下山。登山口駐車場清掃、後片付け終了16時30分。	9合目の避難小屋管理人さんに、小屋トイレの使用状況を伺う。小屋使用時全員に使用済みトイレペーパー持ち帰りをレクチャーしているので、ほぼ、持ち帰られているそう(何時もの習慣でうっかりの方もたまにいます)。北海道の山トイレとしては初めてのTSS(土壌処理)方式の設備を環境省と業者の方が点検に来て見たところ、2槽3槽の水分は透明になってきて順調に処理されているそう。
"	恵庭岳	9/6	当初は空沼岳を予定していたが、恵庭岳に変更。恵庭岳で40部を配付した後に、樽前山に移動し、のぼりを設置。小学生の集団にトイレ問題について話をします。	
"	塩谷丸山	9/12	小雨模様のなか、男性14名、女性9名がみえられ、9割が20代~30代の若い人たちでした。トイレの話をすると簡易トイレに寄っていく人もいました。皆さん、気持ちよく受け取ってくれました。	
"	夕張岳	7/25	「旧産他地域子ども交流事業」という行事前夜の一時をもらい、翌日の夕張岳登山に備え、未来の登山者となる幼児・小中学生たち20名と父母へTシャツを見せて、山トイレの会の存在をPR。ティッシュペーパーがいつでも溶けないで白い花になること、出発前に用を足そう、山中で用を足すことになったらマナー袋を使ってティッシュやゴミを持ち帰ろう、などを講話。	

"	羊蹄山	9/5~7	初日は比羅夫コースを山頂まで出会う登山者に啓蒙活動。ヨレレの人には話ずらく避けた。6日再度、ヒラ登山口で幟を立てて活動。すでもう1つ幟を立ててあった。カインバーから女性1人がトイレ活動して登って行ったと言っていたので駐車中の車にカイト、マップ袋をステッカー。7日・佐藤さんが真狩で活動していたので、少し離れて配布。中には"ありがとうございます"と礼を言う人もいた。喜茂別と京極に回り、車にステッカー。	小屋から上がった外輪のハイマツの中に異物があつた。以前だが喜茂別コースの9合目の登山道の、ど真ん中にティッシュと銀ハエが乱舞していた。やはり登山口にトイレの無い、喜茂別と京極にはティッシュやゴミ類が見うけられる。幟は真狩登山口に立てたまま9/13日に回収の予定。目標のマップ、カイト、袋、各100部を配布した。
日高	ベテガリ岳	9/2	平日で午後ベテガリ山荘に到着、同宿の登山者5名に配布。	ベテガリ山荘は静内山岳会の手入れが行き届いてました。
道南	駒ヶ岳	9/5	トイレは6合目登山口に設置。男性用と女性用に別れています。ゴミは無し、トイレは汲取り式、時々薬剤等を散布して管理されている模様	今回はせっかく作ったハンフレットを無駄にしないように配布させて頂きました。尚、以前に参加した時に比べてチラシ等が増えています。マナー袋とトイレマップだけでもいいのではないのでしょうか？皆さん受け取ってもすぐにザックに入れて出発していますのでゴミにされかねません。又、いろいろとチラシにかけるお金があるならば購入できる数は少ないでしょうが携帯トイレその物を配布した方がいいように思いました。
大雪	旭岳	9/5~6	ロープウェイ姿見駅舎内でマナー袋の説明と配布。登山者に携帯トイレの持参を薦めた。レクチャートイレについて説明。マナー袋とマナーカイトは、過去の在庫を追加して配布した。ロープウェイ山頂駅車内に常設カウンターがあるのでトイレに頼らず、在庫がある限り配布をした。	登山者(特に縦走者)に携帯トイレの準備を薦めているが、持たずに行動する登山者も多い。旭岳では、特にニセ金庫岩、旭岳石室周辺の排泄が多いため携帯トイレ及びトイレブースの利用を積極的に薦めていきたい。
"	黒岳	9/6	黒岳七合目～山頂迄は登山客も多いので綺麗に管理が行き届いています。汚物等は無し	初めて参加させて頂きました。登山記録会には老若男女220名程来てましたので、さっさと上がり一番に麓に下りて待ち受けて配布しました。大方は好意的に受け取って貰い、色んな方々と話し、良い体験が今日の収穫です。有り難うございました！
"	大雪高原温泉	9/13		小雨模様のせいで、ザックカバーをしている人が多く、カバーはずして、ザックの中に入れてもらうのが気になって、多くの人に配布出来ませんでした。
"	忠別岳	9/5~6	すぐ目の前にトイレがあるにも関わらず、避難小屋の周辺にトイレ痕多数。これらに惹かれてか、クマの糞も小屋そばにひとつ申し訳ありません。呆れるばかりで回収などの処置ができませんでした。	小屋の前の広場に焚き火痕まで見つかり残念、無念
十勝	十勝岳	9/6	前日白銀荘泊。望岳台登山口に幟を立てたあと、ミーティング。8時発。ゴミを拾いながら下りの人に配布、呼びかける。避難小屋周辺でガラス片、空き缶など回収。登山道のゴミは少なかった。20人ほどの百名山ツアーが登ってきたが、配布できず、30部ほど足りなかった。十勝岳は隠れる所が無いので、女性にとっては大変。避難小屋に携帯トイレブースがあればと言っていた。	皆さん好意的に受け取ってくれた。若い大森さんが主に配布。呼びかけも徐々にスキルアップ。上手くなった。若い4人が十勝岳初登頂。楽しいトイレデーだった。
"	美瑛富士避難小屋	9/5	美瑛富士避難までは水無川から行く。小屋周辺の清掃では新しいトイレ紙3か所と現物1か所、ほかゴミが数個あっただけでした。当日下山途中で遇った登山者を入れると15名が小屋に泊まった模様。宿泊者のほぼ全員が携帯トイレを所持。本州からの登山者も持参していました。登山道にはゴミなし。	遭遇した登山者は20名ほどだったが、携帯トイレの浸透を感じた。今後も地道ながらより浸透を図って行く必要はある。
道北	利尻山	9/6	登山口に会の幟を立て清掃登山を実施。ティッシュ・投げ捨て携帯トイレ、ゴミなどの回収。マナーカードの配布による登山者への啓蒙活動。トイレ痕の記録。参加者アンケートの実施。	ティッシュ痕19、トイレ放置1と少ない印象(雨天の影響?)。低標高のトイレ痕も減少傾向。マナーカードは渡す側、渡される側ともに好評。活動参加の常連高齢者が引退→低標高活動も今後の視野に。